

ウクライナ国復興に向けた民間セクター参画促進プロジェクト (農業教育分野等)

および

ウクライナ国復興に向けた民間セクター参画促進プロジェクト (インフラ、エネルギー、デジタル分野等)



Connecting with Ukraine

～ Co-creation with strong partnership of Ukraine and Japan ～

～ 日ウクライナパートナーシップの強化と共創 ～

あなたの挑戦がウクライナの未来に貢献、農業ビジネス等の分野での国際協力インターンシップ

1. 貢献への情熱を持つ方へ：ウクライナの農業ビジネス分野での復興に貢献しませんか？あなたの情熱が現地の未来を支えます。
2. 実践的な経験を積みたい方へ：国際協力の現場で、課題解決に挑戦できる貴重な機会。プロジェクトを通じて実践的なスキルを磨けます。
3. グローバルな視野を広げたい方へ：異文化の中で学び、グローバルな視野を広げるチャンス。世界の課題に向き合いながら成長できる場です。

プロジェクトの背景

2022年2月24日のロシアによるウクライナ侵攻以来、ウクライナ国ではインフラ施設を中心に甚大な被害が出ており、経済的な損失を被っています。同国の復旧・復興には公的資金による支援に加え、民間企業の直接投資や企業が有する技術の活用も必要となっています。日本政府は戦争開始直後から財政支援や技術協力支援を実施し続けているが、ウクライナへの復旧・復興支援をさらに加速するため、2024年2月に「日本ウクライナ経済復興推進会議」を開催し、官民あがての復旧・復興に取り組む方針を打ち出しました。

「ウクライナ国復興に向けた民間セクター参画促進プロジェクト（農業教育分野等）」および「ウクライナ国復興に向けた民間セクター参画促進プロジェクト（インフラ、エネルギー、デジタル分野等）」（両方を合わせて、以下「本プロジェクト」と称す）は、ウクライナ国の復旧・復興における社会課題の解決に資する日本の民間企業の製品およびサービス・技術・ノウハウの有用性を確認し、当該民間企業のウクライナ国および周辺国へのビジネス展開を支援することを目的としています。



業務概要

本プロジェクトは、株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル（以下、当社）が共同事業体を結成し（当社は共同企業体の構成員）、JICA の技術協力プロジェクトとして 2025 年 2 月 5 日から 2026 年 2 月 27 日の期間で実施する事業です。

本プロジェクトでは、本邦民間企業が保有する農業、教育、インフラ等の技術やサービスの有用性やビジネス展開可能性を検証するため、ウクライナ現地でパイロット事業を実施し、採択企業のビジネスプラン策定を支援するとともに、ウクライナ政府への投資環境改善に向けた能力強化・政策提言を行うものです。

インターンシップ研修内容

インターンシップ研修として、本プロジェクトに関する以下の業務に携わることで、JICA が実施する技術協力プロジェクトや開発コンサルタントの業務内容についての理解を深めてもらうことを想定しています（なお、インターンシップ研修としては、研修の進捗状況を考慮した上で、本プロジェクトの業務以外の業務にも従事して頂く可能性があります）。



1. ウクライナにおける復旧・復興の現状と課題、JICA が実施する技術協力プロジェクトへの理解
2. 農業、教育、インフラ等の技術やサービスに係るパイロットプロジェクトの実施支援
3. ウクライナおよび周辺国におけるビジネス展開可能性の検討
4. JICA との業務実施契約に基づく提出書類の作成、精算業務

対象者

アグリビジネス、アグロインダストリー、産業開発、開発とビジネス、民間セクター開発分野のコンサルタント業務を志望する者で、英語での業務に抵抗のない学部 3 年生あるいは修士 1 年生

実施時期

2025 年 7 月下旬から 9 月下旬まで期間中で約 2～3 週間（要相談）

募集人数

1 名